

# せとうちちょう

# 第170号

平成30年8月発行

# 議会だより

発行／鹿児島県瀬戸内町議会 編集／議会報編集委員会 〒894-1592 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津 23 番地



伊藤絵里子さん  
(20)

中学生から高校生にかけて、吹奏楽部員として活動していた。

打楽器を手始めに、高校生になるとホルンを担当するようになった。

歌にも興味があつて、先ごろ公開された町民ミュージカルにも出演したという。

一度は島の外に出て、音楽に関わることをしてみたい、と夢を語る。

シマが好きで、狭いと思うこともあるけれど、すぐに助け合うことのできる人間関係はいいな、と思っている。

率直な人柄は、二十歳という年齢と相まって、新鮮なういっしさを感じさせてくれる。

地元の高校を卒業して2年目、事務員として建設会社に勤務している。

# 第61回奄美群島市町村議会議員大会



平成30年5月16日  
「第61回奄美群島市町村議会議員大会」  
が徳之島町で開催されました。

提案理由の説明を行う岡田弘通議長

本大会は、毎年各市町村持ち回りで開催されており、各市町村からの議員・来賓等、総勢約200名が参加しました。大会では、県政報告・各地区からの提出議題・提案理由の説明。その後県議会議員から助言や指導がありました。今回提出のあった議題は全て採択となりました。今後は、群島共通の問題として国や県・関係機関等への陳情活動に展開されていきます。また、自治功労表彰では各市町村の議員8名の方が受賞し本町からは渡島芳臣氏が受賞しました。おめでとございました。

## 今回提出された議題

- ① 平土野港多機能港湾新設整備について（徳之島町・天城町・伊仙町）
- ② 乳幼児医療費助成事業・ひとり親家庭医療費助成事業・重度心身障がい者（児）医療費助成事業の窓口無料化について（和泊町・知名町・与論町）
- ③ 主要地方道名瀬瀬戸内線の大金久～戸円間トンネルの早期実現について（大和村・宇検村・瀬戸内町）
- ④ 国道58号おがみ山バイパスの整備推進について（奄美市）
- ⑤ 喜界空港の整備について（龍郷町・喜界町）
- ⑥ 奄美群島における海岸線の油の漂着について（議長会）
- ⑦ さとうきびの販売価格・国の政策支援価格の引上げ，基準糖度・基準糖度帯の引下げについて（議長会）
- ⑧ 平成31年度以降の奄美群島振興開発特別措置法の延長について（議長会）

こんなことを決めました

# 第2回定例会

6月5日~7日

第2回定例会では、専決議案3件、補正予算議案7件、契約議案1件、条例議案3件、同意議案1件、その他3件の計18件の議案を審議し、それぞれ可決しました。主な議案の要旨は次のとおりです。

公益的法人等への職員  
の派遣等に関する条例  
を制定する専決処分事  
項の承認について

「公益的法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律」に基づき、地方公共団体が地方公共団体の事務又は事業と密接な関連を有するものであり、かつ、その施策の推進を図るための人的支援を行うための職員の派遣に關し必要な事項を定めることを目的として制定！

## 一般会計補正予算 (第1号)

特定離島ふるさとおこし推進事業費(加計呂麻島・請島・与路島の3島

が対象)として、農林水産業費、商工費、土木費、消防費及び教育費に総額1億6千3百94万7千円を追加しました。

主な事業内容のハード

事業として、農道整備事業「加計呂麻島(鎮西地区)、与路島」1千6百90万円、共同利用農業施設整備事業「加計呂麻島(俵地区)ビニールハウス2連棟×2棟」2千3百57万6千円、公共用観光施設整備事業「安脚場戦跡公園整備事業」6千5百50万円、道路環境整備事業「加計呂麻島(西阿室地区)」500万円、港湾施設整備事業「加計呂麻島(押角地区・瀬相地区)」1千4百50万円、巡回診療車整備事業1千

5百12万円、ヘリポート施設整備事業「請島・与路島」1千400万円、教育環境施設整備事業「加計呂麻島地区学校給食配送車2台・加計呂麻島スクールバス1台」1千4百72万4千円、ソフト事業として、観光物産宣伝対策事業4百8万6千円、人材育成・技術技能研修事業4百43万9千円。

平成29年度加計呂麻港(俵地区)改修工事(2工区)請負変更契約につ

いて  
本議案は、株式会社勇建設と1億2千5百82万円で契約し工事を進めているところですが、公共工事設計労務単価の更

正に伴う、特例措置の適用であります。変更金額は、15万5千円の増で変更後の請負金額は、1億2千5百97万5千円となります

## 教育長の任命について

上田敏也前教育長の一身上の都合により辞任したことに伴う新教育長の任命についての議案であります。中村洋康氏(前教委総務課長)を地方行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により、任命するものです。賛成多数で同意されました。

※上田敏也前教育長のご功績に対し敬意を表します。

# 一般質問

## 大型クルーズ船誘致問題を中心に

柳谷 昌臣 議員



行政全般について

**柳谷** 公共施設は、今後施設管理、事業運営等、民間委託することが重要になってくると思うが、どう考えているか。

**町長** 公の施設は、住民に対して自治体の行政サービスを具体的に提供する拠点となっており、多様化する住民

の行政需要に比べ、多くの人々の利用に供するため、施設が運営されている一方、建設時のコストが巨額であるとともに、ランニングコストについても継続的に多額の費用を投入している現状である。

その投資に見合う行政効果が出るよう最大限に努力することが、行政の勤めであり、課題であることから、議員がご指摘のように、民間のノウハウを活用することにより、サービスの質を高めつつ、コストの削減をはかるという観点から民間委託は重要であると認識している。

町政全般について

**柳谷** 町政懇談会での

町民の反応は？

**町長** 今回の町政懇談会については、身近な生活環境における課題の解決に向けて、町民

との対話を通じ、自助・共助・公助のバランスのとれた地域社会の構築をはかること、さらには国土交通省が計画している「島しょ



三味線教室で学ぶ子どもたち（きゅら島交流館）

部における大型クルーズ船の寄港地開発」の内容説明と、現状の報告を目的として実施した。

私は、懇談会を通じて、まずは町民の皆様にお詫びし、ご意見、ご要望については真摯に受け止めてきた。様々な反応はあろうかと思うが、町民主体の政治を信念とする私の考えは、町民の皆様の心に届いていたと感じている。

**柳谷** 町政マニフェストの達成状況は？

**町長** 「瀬戸内創生マニフェスト」は、「まちづくり」の指針として8分野、そして具体的な政策として34項目をかかげており、この

達成により町民の真の幸せが実現できると確信している。

現時点における「瀬戸内創生マニフェスト」の達成状況としては、おおむね5割を超えていると考えている。

**中村 義隆 議員**



**クルーズ船誘致について**

**中村** 県への要望書取り下げで、議会への説

明は？

**町長** 今回の町政懇談会の大きな目的は、すべての町民の皆様への信頼回復であることから、町民の皆様には根強く残る不安と不信感を払拭するためには、要望書の取り下げが必要であると判断したことによるものである。

町民の代表である議員各位には、今議会において質疑を通して説明していきたいと考えている。

**古仁屋高校存続について**

**中村** 全国から生徒を募集する、地方高校への「留学」を支援する財団法人が設立され、古仁屋高校も支援対象

になったが、その内容とは？

**町長** 古仁屋高校で進められている「地域みらい留学」は、昨年設立された一般財団法人「地域・教育魅力化プラットフォーム」が、都市部で暮らす生徒に、自然豊かな地域で、地域の伝統文化に触れ、様々な体験を通して充実した高校3年間を過ごしてもらおうと、全国から生徒を募集するものである。

**中村** 一定の留学生の確保にいたらず、統廃合の対象になった場合、県立古仁屋高校から町立古仁屋高校への検討は？

**町長** 現在、古仁屋高

校の存続、活性化のために教職員の皆様と定期的に意見交換を行っており、その中で古仁屋高校から「地域みらい留学」のご提案があり、本町としても応援しているところである。

古仁屋高校の教職員の皆様は、県立高校の存続のため鋭意努力しており、あらゆる可能性に挑戦している。

本町としても引き続き古仁屋高校の支援を続け、県立高校の存続のために全力で取り組んでいく考えである。

**藻場造成について**

**中村** 奄美市住用町のすみよう漁業集落の藻場造成の取り組みが、今年は成果をあげてい

るようだが、本町では？

**町長** 藻場造成については、これまで白浜海岸において増殖試験を行ってきたが、思うような成果があがっていないのが現状であった。

しかし、今年は白浜海岸において、藻場の

生育が良く、一帯に繁茂しているのが確認されたので、一部を須手海岸に移植している。

今後については、現在、県水産技術開発センターが嘉鉄海岸で藻場造成試験を実施中であるので、その実証結果を踏まえて検討したいと考えている。



藻にむらがる小魚

**渡島 芳臣 議員**



**大型クルーズ船**

**誘致計画について**

**渡島** 町民からクルーズ船誘致撤回の要望書が提出されたが、この回答内容、計画の進捗状況、国・県の対応はいかがか。

**町長** 現段階において要望書に回答はしていない。進捗状況については、進捗はなし。国・県との協議を行う

ていない。

**渡島** 大型クルーズ船が本町にもたらす、メリットをお尋ねする。

**町長** 本町へのメリットについては、国・県との協議の場にながっていないことから差し控えたい。

**世界自然遺産登録**  
**について**

**渡島** 世界自然遺産登録の延期勧告がユネスコの諮問機関・国際自然保護連合から発表されたが、延期勧告の内容、遺産登録に向けての本町の課題、取り組みはいかがか。

**町長** 生態系において、推薦地域から分断

等されていることにより、生態学的な持続可能性に重大な懸念があり、完全性の要件に合致せず、本基準には該当しない。

遺産登録に向けて関係機関や地元住民と連携して取り組んでいく。

**奄振法の延長に**

**ついて**

**渡島** 今年度で期限切れとなる奄美群島振興開発特別措置法の延長については、他町村と連携して進めなければならぬが、延長に向けての本町の取り組みはいかがか。

**町長** 奄振法の延長についてのスケジュール案では、本年12月には

政府予算案が決定する。

国政・県政との情報共有と緊密な連帯強化のもと、自民党奄美振興特別委員会と緊密な連携強化をはかり延長の要望を行っている。

環境整備について

**渡島** 県道安脚場～実久線の勝能集落内の県道は幅員が狭く軽自動車2台がすれ違うことも出来ず、レンタカーもふえるなか、運転に支障をきたしている。

集落からの陳情書も提出し、以前から道路整備の要望をしているが進展がない。この地区の整備計画の進捗状況をお尋ねする。

**町長** 議員のご指摘のとおり、県道の勝能集

落内は幅員が狭く、車両通行に支障をきたし

ていることは認識している。

本町の観光振興はもちろんのこと、防災等



車の往来が困難な道路（勝能）

のあらゆる分野に直結する道路整備は、重要な施策と考えている。このことから県瀬戸内事務所においては、当区間の整備計画について、今年度から事業に着手する予定である。

**渡島** 本町で、ウミガメが上陸して産卵する場所は何ヶ所あるのか、この保護対策の取り組みと、観光資源として活用しているのかどうか。

**町長** 確認されている産卵場所は22ヶ所である。イノシシ等による食害対策を行っている。観光資源としては活用していない。

安 和弘議員



町行政の見直しについて

**安** 「クルーズ船誘致」という言葉が、新聞紙上を騒がし、町民の間でも賛否の意見が分かれ、とまどいさえ訴える人もいる現状を見たとき、「果たしてこのままでもいいか・・・」という思いにかられ、今回一般質問に取りあげてみた。町当局は、この一連の騒動について、町の



クルーズ船寄港候補地の西古見（池堂地区）

説明不足があったことを認め、各集落で説明会を開き、町民に理解を求めているが、一方、町民の中に「ここまで来るのに、議員はいったい、何をしていたんだ！」という、

我々議会に対する、きびしい声があるのも又、事実である。たしかに、その責任は、あと、自認している。物事の判断でやってはならないことが「手順前後」であるが、ま

さしく、今回の出来ごとは、このことに尽きると思われる。行きづまったとき、言われることが、「原点にかえれ」ということである。

町にとって今こそが原点にかえて、クルーズ船問題について

は、白紙にもどすべきと思うが、いかがか。

なお、白紙にもどすとは、瀬戸内町に3ヶ所の誘致候補地があったわけで、最初から、「西古見ありき」ではなく、町民に広く意見を求める、ということである。

そこから建設的な声が聞こえてくる・・・町当局の見解を伺いたい。

町長 国土交通省が公

表した「島しょ部における大型クルーズ船寄港地開発に関する調査の結果（概要）」においては、町の中から薩川湾一帯、瀬戸崎、池堂地区の3ヶ所が候補地としてあげられていた。

公表後に、資料を分析した結果、国が示した3ヶ所のうち、自然環境や用地等の課題、また、過疎化が著しい西方地区の振興等を熟考した結果、本町においては池堂地区が最良であると判断したところである。

しかしながら、取り組みの手順の不備により、町民の皆様にご心配をおかけしたことから、現段階においては原点にもどることを決断したところである。

今後については、多くの町民の皆様のご意見、ご要望をいただきながら丁寧に取り組んでいく考えでいる。

澤 佳男 議員



路線バスの不定期運行とは何か

澤 先日、こんなできごとがあった。大阪から帰省した婦人が、花富から勢里にいくためにバス停で待っていたが、予定の時刻になってもバスは来ない。少



し遅れているのだろう  
と思ひ、見送りに来て  
くれた親戚の人たちと  
雑談しながら待ち続け  
た。しかし結局、すっ  
ぽかされたかたちでバ  
スは来なかった。

役場に連絡して調べ  
てもらったところ、バ  
ス会社は「不定期運行  
だから！」と言ったと  
いう。

来るのか来ないの  
か、わからないバス  
を、客は待ち続けなけ  
ればならないのか？

**商工観光課長** 不定期  
運行は、事前予約が  
あった場合にそのバス  
停まで行くことになっ  
ているが、この時には  
バス会社に事前の連絡  
は入っていないかった。

**澤** 不定期運行と、デ

マンド運行の違いは何  
か。

**課長** 不定期運  
行は、乗客が降  
りるバス停まで  
は行くが、終点  
まで運行すると  
は限らない。

途中のバス停  
から乗りたい人  
からの事前の連  
絡がなければ、  
そのバス停まで  
は行かない。  
デマンド運行

は、事前の予約  
があった場合に  
のみ、運行す  
る。

**澤** 不定期運行  
の実施が住民に  
周知されていない。

見送りに来た花富の  
住民は、バスは来るも

のと思つて、バス停で  
待ち続けていた。



瀬相港棧橋に待機する路線バス

こんな変な、意味の

よくわからない路線バ  
スを、運行させる必要

があるのか。そんなや  
やこしいことをするよ  
りも、普通に走ればい  
いではないか。

デマンドならデマン  
ドとはつきりしていれ  
ば住民も電話するだろ  
う。しかしほんとう  
は、デマンド運行にな  
れば住民は遠慮するよ  
うになる。「自分のた  
めにここまで来てく  
れ！」とはバス会社に  
言いにくいのである。  
だからますます利用し  
にくくなってくる。

その上、不定期運行  
なんて訳の分からんこ  
とをやりだして…。

いったい、バス会社  
のために路線バスを走  
らせているのか、住民  
のために走らせている  
のか、どっちなのか。

**課長** 過疎化の中で効

率化をはかるといふ意  
味で、今回、地域公共  
交通会議を開いて不定  
期運行を承認し、運輸  
局が認めたということ  
である。

**澤** そういうことをす  
ればますます利用者が  
減っていく。だいた  
い、なんで町が不定期  
運行を承知したのか。

29年度の決算資料を  
見て気づいたのである  
が、29年度の半年間、  
西古見線と実久線で  
100円バスの試験運  
行を実施した。

この2路線では当  
然、利用者がふえて平  
均乗車密度の数字が上  
がったが、この2路線  
以外の町内の全路線で  
もすべて、乗車密度の  
数字が上がっている。

これは、2路線で実

施した100円バスの運行が刺激になって、町内全域で路線バスの利用者がふえたということの意味している。

不定期運行なんていうのは、これの逆方向にいつているのである。そんなことをすればますますバスの利用者が減っていく。

バス会社が、なぜ不定期運行をする必要があるのか、燃料費でも人件費でも何でも、町の税金で補助しているではないか。バス会社には何の損も生じない。

路線バスの運行を縮小するような方向にもつていけば、ますます住民がバスを利用しなくなるのは、明らかなことだ。

**元井 直志 議員**



**町職員を消防団員とすることについて**

**元井** 消防団の高齢化が進み、各地区では団員のなり手が不足している状況の中、役場職員を積極的に消防団員とすることについて、町長の考えを伺いたい。

**町長** 議員のご指摘のとおり、本町は各地区において高齢化が進み、消防団員のなり手

が不足している状況である、と認識している。

本町の消防団員の定数は155名であるが、5月1日現在、団員数は120名で内女性消防団員が12名、役場職員の団員が2名、役場臨時職員の団員が2名である。

役場職員（公務

員）の消防団への加入については、法律においても「公務員の消防団員との兼職に関する特例」として定められているので、職員から消防団員との兼職を求められた場合は、任命権者として積極的に取り組み、対応していきたいと考えている。

また、役場職員に限

また、役場職員に限



**消防団員も参加する出初め式**

らず、地域住民の消防団加入についても、地域防災力の充実強化のため、積極的に取り組んでいきたい、と考えている。

**公用車のシェア**

**リングについて**

**元井** 役場の駐車場は狭い上に公用車があふれている状況である。もつと効率的にシェアリングはできないものか伺いたい。

**町長** 現在の公用車数は、全体で131台所有しているが、その内46台が公用駐車場内に配置されている。

車両の管理については、各課にて管理を行い、他の課の車両を使用する場合は、業務に

支障がない範囲で調整を行い、借用しているのが現状である。

現時点では、効率的に車両運用は出来ているものと考えている。

### 路上ピアノの設置

について

**元井** 全国的に路上ピアノが設置されている。

本町には廃校のピアノが多数あると聞くが、「海の駅」や、その他に活用できないものか伺いたい。

**町長** 廃校になった学校においては教育備品として保管しているピアノがある。

ピアノの状態にもよるが、要望があれば、有効活用の観点からも

検討していきたいと考えている。

### 公営住宅のこれから

について

**元井** 住宅事情は依然として厳しく、現在の公営住宅も老朽化が進む中、建て替えを検討する時期であると思うが、本町の住宅事情と計画を伺いたい。

**町長** 公営住宅の老朽化が進む中、更新期を迎えつつある公営住宅の効率的かつ円滑な更新を行い、公営住宅の需要に的確に対応するため、平成26年度から平成35年度の10年間で計画期間とする「瀬戸内町公営住宅等長寿命化計画」を、平成26年3月に策定している。本計画では、既存ス

トックに対する外壁改修、及び屋上防水等の個別改善事業や計画修繕を優先的に行いながら、住宅の長寿命化をはかることとなっている。

また、計画はおおむね5年後に見直すことになっており、公営住宅の建て替えについては、今後の需要や、人口・世帯の動態などを勘案しつつ、整備計画を検討することになっている。

### 榊 藤光 議員



### 人口ビジョン

について

**榊** 平成72年の人口が3911名とあるが、その根拠を伺いたい。

**町長** 「国立社会保健・人口問題研究所」が発表している数値を根拠にしている。

**榊** 奄美群島各市町村の、昭和30年からの人口推計と地域の基幹産業を調べてみた。

各自治体は一次産業を基幹産業として、人口も昭和30年に対比し、約50%の人口減であるが、本町は66%の人口減になっている。

本町は、皇室献上のパッションフルーツ、クロマグロ、車エビ等高級食材の産地であ

る。

付加価値の高い一次産業振興で所得をふやし、人口増を図るべきではないか。

**町長** 人口問題は最も重要な問題だと認識している。

農業問題は、耕地面積の少ない本町では、果樹類を中心に農業の振興を推進している。

加計呂麻地区には、来年度農業法人の設立で新たな雇用を計画している。また、子どもを産み育てやすい環境づくりで、人口増につながるさまざまな政策をやっていく。

**榊** 本町55の集落の内、29集落が限界集落である。

その内26名以下の集



地域みらい留学フェスタ

落が17集落ある。人口減少問題は、将来、大島本島をまとめた市町村合併につながっていないか心配している。

戸内町が誕生したが、加計呂麻島、請島、与路島には問題が山積している。

将来的に、市町村合併を想定した対策を、企画課内で検討することを提案したい。

**神** 古仁屋高校が進めている「地域みらい留学制度」への支援について伺いたい。

**町長** 都市部で暮らす学生に、自然豊かな地域で、様々な体験を通して充実した高校生活の3年間を過ごしてもらおう、と全国から募集するものである。

**神** 古仁屋高校が取り組む「地域みらい留学制度」を強力に支援し、将来、奄美大島5市町村で進めている奄美大学構想の一部を、本町の廃校地等で共同でキャンパス等を開設し、高校・大学につなげることは、教育環境上、子どもたちにとっても素晴らしい取り組みだと思いが、教育委

員会の感想を聞かせていただきたい。

**教委総務課長** 学部が誘致できるのであれば、中・高・大学の連携が取れるので、瀬戸内町の教育振興においては大変喜ばしいことと思う。

**神** 古仁屋高校の留学制度を支援拡大することによって、市街地の活性化、ひいては学園都市構想にもつなげ、人口の増、南部大島の位置付けにもなると思うが、その取り組みについて伺いたい。

**町長** 奄美大島5市町村では大学設置・誘致の可能性を検討し「共同キャンパス」の具体化を求めているので、

古仁屋高校の振興も含めた中で、国際観光学科や専門学校、短期大学などの高等教育機関を誘致するために、廃校地を利用してできないか、今後検討していきたいと思っている。

**向野 忍議員**



**町長の政治姿勢について**

**向野** 「瀬戸内創生マニフェスト」8つの柱の進捗・達成状況について。

**町長** おおむね5割を超えていると考えている。

**向野** 未達成事項について今後の計画等伺いたい。

**町長** 本年度策定する「瀬戸内町長期振興計画」に盛り込み、引き続き全力で取り組んでまいりたい。

**子ども・子育て支援について**

**向野** 子育て支援に対する各種手当等について

**町長** 補助事業として、一時預かり事業、放課後児童健全育成事業、地域型保育事業への補助を行い、手当助

成として、出産祝金、子ども医療費助成金の支給と特別児童扶養手当、児童扶養手当の手続き事務を行っている。

**向野** 学童保育「古仁

屋児童クラブ」が来年度も新1年生を10〜15名受け入れると、今まで以上に児童数が増え60名以上になる。児童クラブの要望として、もう一つ別に児童クラブを開設し、分



古仁屋児童クラブの様子（古仁屋小学校）

割したいとのことだがどうか？

**町民生活課長** 新たに開設する場合、古仁屋小学校に限定して考えると厳しくなっていくと思われる。他の公的施設や民間の施設にも視野を広げて調査したい。

**向野** 「認定子ども園」の設立について

**町長** 昨年度、町民生活課内にワーキンググループを設置し調査研究に取り組んでいる。

本年度中にワーキンググループとしての考えをまとめたいと考えている。

**向野** 子育て支援の業務を一元化した組織体

制の創設はできないか？

**町長** 支援サービスを利用される方々にとつてどのような形が望ましいのかを確認し、必要性が高いと判断した場合に、一元化に向けた作業に取り組みたいと考えている。

**大型クルーズ船寄港地誘致について**

**向野** 町民の不安・不信を取り除くため町政懇談会を開催したが、今後さらに正確な情報を収集し、情報公開を行うなど行政としての説明責任を果たしていくべきである。今後どうしていくのか伺いたい。

**町長** 町民と共に議論を進めていく。その方策として、庁舎内での議論、有識者との議論により、民間主体の協議会のあり方を整理し、その後、協議会を立ち上げ検討していく。

現状の大きな課題の

一つが情報の不足である。県を通じ、国から

当該計画の情報を収集していく。

さらには国・県のみの

情報だけではなく、町としてもフルスズ船

寄港地の先進地視察を通じ、独自にメリッ

ト・デメリットを調査

また、視察には、議会、町民代表も参加して頂き、あらゆる角度から調査していく。

今後はじっくりと腰を据えて落ち着いた雰囲気の中で、あわてず丁寧に進めていくことが大事だと思っている。

流の企業であったから、一瞬も気が抜けない緊張感の中で日々の仕事を果たしてきた。

年老いた両親の面倒を見るために、はからずもふるさとの節子に帰ってくるようになった。

帰つてすぐの頃、横浜では毎朝6時半には満員の通勤バスに乗っていたから、「島の人たちはのんびりしている」と思った。

いろんな意味で、瀬戸内町は、今が変わるチャンスだと思う。

そして議員は、もっと勉強をすべきだと思う。

# 声

## 盛 茂喜 (77)



18歳で故郷を出た。以来、55歳までの37年間を横浜で生きてきた。

た。

仕事をしながら電気関係の学校に通い、定年までオートメーションの設置、維持管理の業務一筋に打ち込んできた。

相手の企業は、日産自動車だの、日清製粉だのという日本で一

## 編集後記

6月議会を終えて、はや7月も末となった。人間の体温を上回る異常な気温の上昇に、日本中がぐったりしている。

近年続く異常気象がさらに激しさを増して、今年も早くも台風が数度日本に襲来し、各地で自然災害が起きて人々を苦しめている。日本人は大昔から、地震と風水害に痛めつけられながら、それでも這い上がって生き抜いてきた。

そして一方では、災害の中でその心身をきたえられ、育てられながら日本人としての精神を形成してきたのである。

こういう意気込みで議会活動にも取り組み、この暑さに負けず町の発展に尽くしたいものだと、我々一同気を引き締めているところである。



編集委員会風景

### 議会報編集委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 澤 佳男  |
| 副委員長 | 元井 直志 |
| 委員   | 岡田 弘通 |
| 委員   | 向野 忍  |
| 委員   | 池田 啓一 |
| 委員   | 中村 義隆 |
| 委員   | 町田 孝明 |